

役目を終えたプラスチック鉢が熊野筆へ！実施校が8校に拡大

YOKOHAMA
GO GREEN

～子どもたちが資源循環を体感する環境学習～

横浜市では PHI 株式会社と連携し、市内小学校において朝顔などの栽培に使用されたプラスチック鉢を熊野筆の柄として再資源化する環境学習を実施しています。

令和8年度は実施校を8校に拡大し、各校において子どもたちが資源循環を体感できる環境学習を実施します。

1 令和8年度実施校一覧※1 (令和7年度1校→8校に拡大)

区	小学校名	第1回授業	第2回授業
鶴見区	鶴見小学校※2	9月24日(木) PM	12月2日(水) AM
中区	大鳥小学校	9月25日(金) AM	12月3日(木) AM
保土ヶ谷区	峯小学校	調整中	調整中
都筑区	すみれが丘小学校	7月2日(木) AM (終了済)	9月15日(火) AM
都筑区	荏田南小学校	9月16日(水) AM	12月16日(水) AM
都筑区	牛久保小学校	10月28日(水) AM	調整中
戸塚区	小雀小学校	10月20日(火) AM	1月28日(木) AM
瀬谷区	上瀬谷小学校	9月30日(水) AM	12月21日(水) AM

※1:授業日程は変更となる場合があります。なお、本取組の市内小学校への周知にあたっては、一般社団法人横浜青年会議所にご協力いただいています。

※2:鶴見小学校では、7月16日に導入授業を実施しました。

2 環境学習の内容 (小学校により、実施する内容が異なります)

<第1回授業：プラスチック鉢の洗浄>

子どもたちは、使用済みプラスチック鉢の洗浄や資源循環に関する授業を通じて、自分たちが使用した鉢が新たな製品へ生まれ変わることを学びます (PHI 株式会社)。また、本市のプラスチックの分別やリサイクルについても学習します (資源循環局)。



第1回授業の様子：鉢の洗浄

リサイクル熊野筆

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

<第2回授業：筆を活用した体験>

自分たちが利用したプラスチック鉢を再資源化した熊野筆を使い、手紙やメッセージを書くなどの体験を行います。資源が循環して身近な製品として戻ってくる仕組みを学びます（PHI 株式会社）。



第2回授業の様子：筆の体験 ▶

3 取材申込

授業実施の2営業日前までに、資源循環局事業系廃棄物対策課へメールでお申し込みください。

◆送付先：sj-genryokikaku@city.yokohama.lg.jp

※メールの件名は「【取材依頼】子どもたちが資源循環を体感する環境学習について」としてください。

※メール本文には、①媒体名／②担当者名／③取材希望内容（撮影、インタビュー等）／

④交通手段（車の場合、台数も記載）／⑤人数／⑥連絡先 をご記載ください。

4 （参考）取組の概要

市内小学校で使用されたプラスチック鉢を熊野筆の柄として再資源化することで、子どもたちが「回収→再資源化→利用」の一連の資源循環を体験しながら学ぶ環境学習です。

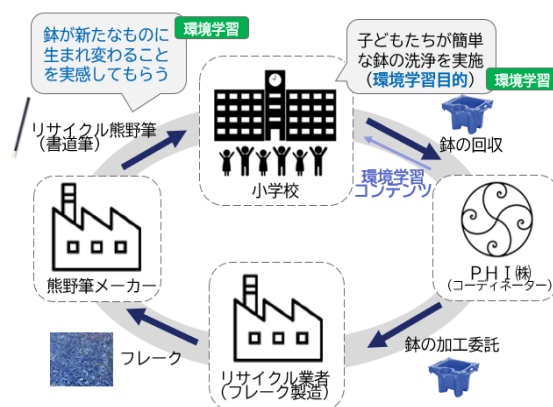
本取組は、PHI 株式会社から横浜市資源循環推進プラットフォームへ提案いただいたことをきっかけに令和7年度から実施しており、本取組により製造した熊野筆については横浜グリーンエクスポでの活用も検討しています。

（参考）令和8年6月25日記者発表

「子どもたちが資源循環を体感する環境学習を実施します

～役目を終えたプラスチック鉢が熊野筆へ！令和8年度は取組実施校が拡大！～」

URL：<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2026/0625YRC.html>



【参考1】横浜市資源循環推進プラットフォーム

令和6年10月に、市内の廃棄物処理業者7社が中心となり発足しました。

このプラットフォームでは、主に市内での動脈産業と静脈産業が連携した取組を促進し、資源循環産業を活性化させることで本市の資源循環施策を推進することを目的としています。横浜市は、プラットフォーム幹事企業7社との連携協定に基づき運営等を支援し、公民一体での議論・取組を進めています。



【参考2】PHI 株式会社

産官学連携によるサーキュラーエコノミーシステムの推進、関連インフラの構築、環境教育に関する学習コンテンツの開発、製造・販売、アップサイクル製品の企画・開発などを行っています。PHI 株式会社ホームページ：<http://www.phi-gr.com/>



YOKOHAMA CIRCULAR LINK 「つなぐサーキュラー」

横浜市は、循環型都市への移行を目指して、6つの分野でサーキュラーエコノミーの取組「横浜サーキュラーリンク」を推進しています。

本件は動静脈連携により、再生資源の更なる活用を目指す「つなぐ」サーキュラーの取組の一部です。



サーキュラーリンクについてもっと知りたい方はこちら▶（横浜市中期計画 2026-2029）P.73

お問合せ先

（取組全体に関すること）

資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長 金田 Tel 045-671-2558

（PHI 株式会社に関すること）

PHI 株式会社 CEO 繁田 <https://forms.gle/kivUSoopggQfGvDl6>



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷